令和3年 施餓鬼会（9月19日）
お施餓鬼は家族の健康長寿を願う行事です。境内に向かってお米を撒き、集まった餓鬼に供養します。

龍蔵寺 寺報　年末年始のご案内

年末年始のご挨拶

向寒の候、檀信徒の皆様におかれましては、なんとかコロナ禍を乗り越え、元気にお過ごしのことと拝察しています。

お寺としましても、葬儀や法事での対策など、大変なことも多くありましたが、佛様のご加護と檀信徒の皆様のご支援のおかげで、なんとか乗り越えることが出来そうです。篤く御礼を申し上げます。

お寺では禍転じて福となそうと、この一年境内整備を進めてまいりました。法事やご葬儀の会食で利用頂いている龍蔵寺会館は、トイレの洋式化、バリアフリー化が課題でしたが、皆様のご支援を頂き、無事完成することが出来ました。法事以外でも金土日は会館を開けていますのでトイレはご利用頂けます。

またこの一年、お墓に関する相談を多く受けました。改葬、墓じまいの相談もありましたし、新しく墓地をお求めになった方もおられます。共通するのはそれぞれにご家族ご先祖様を大切に思い、供養を真剣に考えておられるところです。それぞれに事情があり悩みがありご相談に来られます。それを伺いながらお寺としてできる事を考えています。手始めに後継者のおられない方、墓じまいをされたい方への納骨堂（二十三夜堂）の提供を始めました。

今年も十二月二十八日十時からお餅つきを行います。鏡餅をつくります。参拝者にも搗きたてのお餅を振る舞いますので、参拝ついでにお立ち寄り下さい。お手伝いも募っています。また、除夜の鐘は十二月三十一日の二十三時開始です。来年も第一日曜日の朝のお念仏の会を続けます。

令和四年が、皆様にとってよい年でありますように。

合掌　住職

上：除夜の鐘を撞きに来山された方には、干支みくじを差し上げています。来年の干支はトラです。
右：お鏡をつくって各お堂で供養します。
お手伝い頂ける方は、10時にお越しください。

境内の整備計画とご報告

檀信徒の皆さまのお声をお聞きし、境内の改善に取り組んでいます。施主としてご寄進されたい方は寺務所までお申し出ください。長寿の報恩、感謝、回忌法要の記念に。それぞれに記銘し、三〇万円以上のご寄進は本堂にもお名前を記し、末永く顕彰させていただきます。

会館内のお座敷（ここは改修しておりません）

龍蔵寺会館改修完了

檀信徒二三七名のご寄進を頂き、去る十月に改修工事が終了いたしました。改めて御礼申し上げます。

会館は昭和六十二年ごろに、檀信徒の法事やご葬儀での待ち合わせ、会食用に建設されたものです。五年ほど前からは時代に合わせて椅子席としています。この改修では、トイレの更新、車椅子でも利用できる洋式トイレを整備しました。座敷に車椅子で上がれるスロープも用意しています。法事ではこちらに集合ください。会食される場合は、事前に予約をお願いします。複数の仕出し屋さん、お弁当屋さんから選べます。

写真上　寄進者の芳名板。三〇万円以上御寄進された方は、本堂にも芳名を掛けています。
写真中右　数名から四〇名程度のご会食にご利用できます。ご法事やご葬儀にご利用下さい。
写真中左上　車椅子利用者様もご利用できるトイレ。
写真中左下　手洗いも綺麗になりました。

古佛眼山　龍蔵寺
電　話：〒三四七-〇〇六八
埼玉県加須市大門町一八-五一
寺務所：午前九時～午後四時
電　話：〇四八〇-六一-〇八五〇
Ｆａｘ：〇四八〇-六二-七九〇〇
会　館：〇四八〇-六一-〇八九二
メール：info@ryuzoji.jp
Ｗｅｂ：www.ryuzoji.jp

正念と雑念　マインドフルネス

法事の冒頭には八回鐘を打ちます。仏教の八正道の教えを象徴し、仏弟子が実践すべき八つの行いを再確認します。

その八正道の一つに正念があります。その意味は、心の状態を正しく理解すること。この英語が　Mindfulness（マインドフルネス）です。マインドフルネスは、リラックスして集中力を高める実利的な瞑想法として、グーグルなどのＩＴ企業が注目して、本も数多く出版されているので、耳にしたことがある方も多いと思います。アップルの創業者、スティーブ・ジョブズが禅や瞑想に傾倒していたのは有名な話です。近年の流行は、ＩＴ企業によって仏教の正念（瞑想そのものは古今東西、古くからあるわけですが）が再認識されたことによるものです。

ＩＴ企業はリラックスして集中力を高めることが、創造性や効率向上につながると評価しているようですが、実は本来の目的はそれとは真逆。心の動きを緩やかにし、細かく分解していくことで己を客観視するという作業です。「生きる」とは何か、「苦しみ」とはなにか、人の生の本質を理解するための修行です。ＩＴ企業はその成果を売り上げ増、我欲の拡大に使っているわけで、ちょっと違うのではないかと思います。

正念の反対が雑念です。瞑想ではまずは自分の体の動きを観察し、次の心の動きを観察します。例えば最初は呼吸の動きを、ノートに書き留めるように追っていきます。吸っている、吸っている、吐いている、吐いている、吸っている、吸っている、という具合です。この修行をまさにノーティングといいます。次第に落ち着いてくると、心の動きがよく観察できるようにになってきます。すると逆に、あ～腹が減ってきたな～、とか俺は何をしているんだろう～、とかノーティングを忘れて、様々な思いが浮かんできます。これが雑念です。よく、雑念を振り払って！　といいますが、仏教ではこの雑念もノーティングするよう心がけます。自分はこんなことを考えている。雑念が浮かんでいる。とノーティングするわけです。すると次第にノーティングしている自分が心を占めるようになり、雑念は不思議と払われてもとの正念に戻っていきます。

時として人は、心を怒りや妬み（三毒といいます）が埋め尽くすことがあります。そのような時、人はまさに我を忘れ、地獄に落ちています。正念を思い出し、怒っている自分をノーティングする。自分が怒っている、怒っている、怒っていると繰り返すことで、強力な負の思念から距離を置くことができ、自分を救うことができるわけです。世界を変えることは難しいが、自分を変えることは容易い。お釈迦様が発見した真理です。

そして法然上人は、この正念に至る、誰にでもできる修行法が、南無阿弥陀仏と佛様の名前を称えるお念仏だと発見されたのです。

（二〇二一年九月四日）

四恩

夏の行事、お盆の由来には、イラン系のソグド人が、死者の霊魂を「ウルヴァン」と呼ぶことから来たというのがあります。各家でケヤキ科の枝葉を燃やして家を燻すと、死者の霊魂がその香りにのって子孫の家に帰ってくるという祖霊祭が、中国を経て日本に伝わったといいます。

インドにせよイランにせよ、千年以上も前の行事が、日本に伝わり仏教の行事として続けられていることに驚きますが、それも父母の恩という普遍的な愛をテーマにしているからでしょう。

恩は様々な経典に書かれていますが、「正法念処経」には、母の恩・父の恩・如来の恩・師匠の恩の四恩が強調されています。恩という字は、原因の因という字の下に心を書きます。因を心にとどめるのが恩ということです。

逆境にある人には、その理由を他人や社会のせいにして、あいつが悪い、親が悪い、社会が悪いと考える人もいるでしょう。しかしそんな人でも命があるのは父母のお陰ですし、そこに到るには何人もの先生や師、先輩の世話になったはずです。それを忘れてしまっては、まさに生きながらにして餓鬼道に落ちているのと同じです。

人は、一人で生きていくことはできません。また、自分自身の努力や才能だけで、何かをなし得るはずもありません。才能は親からの遺伝かたまたまの偶然です。努力といったって、努力ができる環境は自分でつくったものではないでしょう。大いに成功を修めた人でも、それはほとんどが父母の恩や運（如来の恩）、四恩によるものであって、自分の計らいの影響など微々たるものです。そういった中で私達は生きている。むしろそういった力によって生かされているのだと思います。

（二〇二一年七月三一日）

倶会堂阿弥陀如来開眼記念
祈願散華のご奉納（百枚限り）

令和四年五月の倶会堂阿弥陀如来開眼法要に向けて準備を進めています。ご本尊様については年内に据え付け作業を行う予定ですが、背後に木製の散華をレイアウトして、蓮の花びらを表現しようと考えています。佛様が現れてお説教されるときは、天から蓮弁が降ってくると経典に書かれています。

檀信徒の皆様に願い事を書いて頂き、奉納頂けると良いご縁ご供養になるのではないかと考えています。

健康長寿・無病息災・厄災消除　・合格祈願・家内安全・先祖追善など、ご法事の卒塔婆供養としてもご利用頂けます。志五千円です。

桐でつくった花弁の裏側に皆様の願いことを書いてもらっています。

お寺からのお知らせ

新規墓地のお求め

境内の整理で新しく造成した墓地を、ご希望の檀信徒・ご親戚にお分けしています。志三十万円から。

納骨堂（二十三夜堂）のご利用

境内にある二十三夜堂を納骨堂としてご利用いただけます。現在檀信徒でない方も、ご利用いただけます。詳しくはＨＰをご覧ください。一柱十万円。

納骨堂前の香炉

お念仏の会　テンプルモーニング

毎月第一日曜日、朝の七時からお念仏とお掃除の会を開いています。月初めの朝を心清らかに始めませんか。

一月二日（日）、二月六日（日）、三月六日（日）、四月三日（日）
五月はお休み
六月五日（日）
七月は新盆法要のためお休み
八月七日（日）、九月四日（日）
十月二日（日）
十一月六日（日）
十二月十一日（日）

行事・法要

一月一日　元日会（十時）
三月十八日～二十四日　春のお彼岸
五月八日　誕仏会（花祭り）
七月三日　新盆法要・盆施餓鬼木札開眼法要（十四時）
八月一日～九月十五日　施餓鬼供養受付
九月十八日　施餓鬼法要（十四時）
九月二十日～二十六日　秋のお彼岸
十二月二十九日　餅つき正月準備
十二月三十一日　除夜会（十一時開始）

メルマガのご案内

お寺からの案内を電子メールで配信しています。龍蔵寺のホームページから登録できます。ご家族や後継者への引継ぎにもお役に立ちます。

龍蔵寺ホームページ　ryuzoji.jp

本寺報、法事のお申込用紙、連絡先の追加登録用紙など、ホームページからもダウンロードできます。